



でんでん Press では、お祭りでんでん館の情報や、民俗芸能の情報をお伝えします。

はじめまして！～お祭りでんでん館キャラクター紹介～



「でんでん丸」

ぼくは「でんでん丸」。八代にはすてきなところがいっぱい！きょうはどこに行こうかな～。



「まつりちゃん」

はじめまして。わたしの大好きな八代のお祭りや行事を紹介します。「まつりちゃん」ってよんでくださいね。



「お祭り博士」

みんな、元気かのお。わしは「お祭り博士」。妙見祭のことならなんでもわしに聞いてくれ。

笠鉾 西王母 3/5(土)まで展示

西王母は、中国の周の穆王に長寿を保つ桃の実を捧げたという話に出てくる崑崙山こんろんざん（中国の伝説に出てくる不老不死の仙人が住むと伝えられるところ）に住む仙女じゃ。西王母の住む庭の桃の木は、3000年に一度花を咲かせ、実をつけると言われていました。



笠鉾の一番上の飾りは、下から見上げることを前提に作られておる。西王母も下から見ると、やさしく微笑んでいるように見えるんじゃが、でんでん館の2階のお宝ギャラリーでは西王母が真正面に…。その姿はまさにクールビューティーじゃ。今、でんでん館に展示しておるから、ぜひ、実物を見てほしいのお～。



笠鉾さげもん やつしろのお雛祭り 2/12(土)～3/6(日)



いよいよ、20回目を迎える「やつしろのお雛祭り」が始まりました。でんでん館でも、でんでん館オリジナルの「笠鉾さげもん」を展示していますよ。妙見祭に登場するいろいろなおめでたい飾りにちなんださげもんです。でんでん館はスタンプラリーポイントにもなっていますよ。すぐ近くの松浜軒と博物館にも、八代城主松井家に伝わる江戸時代の雛人形や雛道具、小袖などが展示されていて、とてもきれいです。お得な「3館周遊割引チケット」で、3つの施設をまわってお雛祭りを満喫してください！



今月の水引幕

「黒緞子地九曜紋模様繡水引幕」



でんでん館では、毎月1枚ずつ笠鉾の水引幕を紹介しています。現在使われていない水引幕を展示することもありますので、お楽しみに。

笠鉾西王母の水引幕です。平成7年(1995)に新しく作り替えられました。

この水引幕の九つの丸は、九曜紋という文様で、妙見宮(八代神社)の神紋です。中央の丸は太陽を表し、周りの丸は太陽系をめぐる惑星ともいわれ、星の信仰が元になった紋です。

こだわりポイント1

この水引幕は、太い金糸を細い留め糸で縫いつける「駒縫い」という縫い方を使っているんじゃ。縫い目の細かさに注目して見てくれたまえ。

こだわりポイント2

2つの九曜紋は、笠鉾の左右に来るようになっておる。行列の中で見物人に見えるのは、笠鉾の横側じゃからだろうな。

